

## 一般質問から

平成 18 年第 2 回定例会の一

般質問は、 6 月 15 日、 16 日、 19 日の 3 日間にわたり、 18 人の議員が 52 項目の質問事項について、 市の見解を求めました。ここでは、各議員の主な質問と、それに対する市の見解を紹介します。

なお、詳しくは、 8 月下旬頃、更新予定のホームページの「会議録検索」をご覧ください。

### 用語 一般質問

一般質問とは、議員が市の仕事全般について、執行機関から現在の状況やこれからの考えを聞くことです。



### 八潮駅前へ防災公園の建設！

Q 大地震発生により「つくばエクスプレス」が不通

となった場合、駅構内外が大混雑になる、被害状況や交通機関の復旧見込みなどの情報を滞留者に提供、すみやかに誘導できる駅周辺への避難場所の確保と防災機能を備えた近隣公園の建設についてお尋ねします。

A 駅前南口に計画している近隣公園の面積は「約 1 万 4 千平方メートル」周辺道路の整備と併せて早期に着手できるよう、都市機構と協力し取り組んでいます。

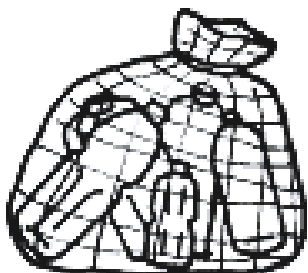
の救済活動の場所としての防災機能の確保、景観に配慮した広場の確保により各種イベント等の開催、市民が楽しめる公園として整備をしていきたいと考えています。また、防災公園としての機能として「飲料水の確保・食料の備蓄・医薬品やトイレ確保」を備えた公園整備を今後関係機関と協議してまいります。

広沢 昇

### ペットボトルの分別収集について

Q 今年の 4 月からペットボトルの分別収集が始まりました。各集積所に専用ネットを設置して収集の利便性を図る考えはありますか。

A なるべく早い時期に専用ネットを各集積所にお配りし、ご利用していただきたいと思います。市内全域で一斉に始めることは難しいので、例えば、お申し出のあった集積所や集合住宅など特定の集積所でご利用していただければと考えております。



森下 純三

### 八潮市の消防力について

Q これからは、何時何処で大きな地震、災害が発生し

てもおかしくない状況の中、安全安心な街づくりを進める為にも消防力の充実が必要ですが、新消防庁舎の建設に合わせ、消防職員の増員計画や消防車両等の充実をどのように考えているかお聞きたい。

A 国では、市町村が消防責任を十分に果たしていくための必要な基準を定めています。本市においても、この基準により、人口密度や管轄面積等を考慮し、車両や隊員の充実を図る等消防力の強化に努めてきました。また、近隣の草加市、三郷

服部 清二



### 小学校高学年・中学生の居場所づくりについて

Q 鉄道開業に伴い、街が大きく変わろうとしている時に小学校高学年、中学生の居場所づくりが求められています。今後の施策の計画についてお聞かせください。

A 17 年 3 月に策定した八潮市次世代育成支援行動計画で、「子どもが健全に育つために」を目標に掲げ、家庭や地域における子育て機能の低下が懸念されるが、子どもが健全に育つための環境づくりにむけた地域住民との交流活動や自然体験、社会体験活動など様々な施策を位置づけているところであります。現在、市内には小学校高学

池谷 和代

年及び中学生が安心して活動できる場として、やしお生涯学習館がありますが、中学生等の健全育成を図るため、八潮市次世代育成支援行動計画等の趣旨を踏まえながら事業の充実強化、居場所等の確保に取り組んでまいります。



### 幸之宮町会の抗議行動について

Q 市リサイクルプラザ及び最終処分場建設にあたって、市と地元町会との合意した中で、周辺整備に掛った費用、最終処分場の継続に至った理由についてお尋ねします。

A 約 17 億 2 700 万円、（水路整備費、2 億 8 855 万円、八条公民館及び図書館用地費並びに同建設費、13 億 7 214 万円、多目的グラウンド費、2 310 万円等）です。幸之宮第二集会場の用地も提供しています。

次に、継続の理由ですが、経済低迷が長引くとともに、当時の基本計画では、平成 7 年 7 万 7 千人、平成 18 年では、10 万 7 900 人との想定に対して現在、7 万 7 千人と予想外となり、また、容器リサイクル法、家電リサイクル法などの法令等の整備も含め、社会全体がリサイクル型社会の構築に向けた地球環境の負荷に対する様々な意識改革が高まり、多くの市民の皆様のご協力もあり、ごみの資源化減量化が着実に進行しています。こうした様々な要因や地道な努力の結果、搬入量が大幅に減少しているため、埋立期間を継続するものです。

豊田 吉雄